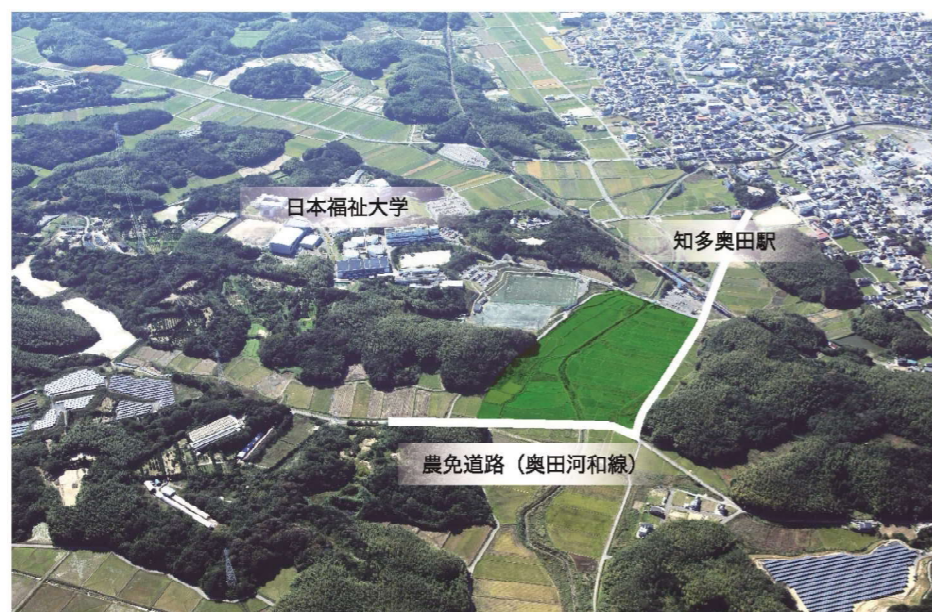


美浜町概要

美浜町は、知多半島の南部に位置する、温暖で、緑豊かなまちです。面積は46.20km²。東は三河湾、西は伊勢湾に面し、その東西両海岸に向かって広がる平地と、ほぼ中央を南北に知多丘陵が連なっています。

三河湾国定公園として指定されている美しい自然が広がり、温暖な気候、海水浴場として利用されている白砂の浜辺、天然記念物「鶺鴒の山鶺鴒繁殖地」など、四季それぞれの魅力を発信しています。また、源平合戦の歴史を物語る史跡「大御堂寺」、東海地方最古の霊場「時志観音」、本町小野浦出身の音吉、久吉、岩吉の3人の船乗りが一年余り漂流の後米国に漂着し、その後英国人に助けられ、聖書と訳に協力したことを称えた「和訳聖書発祥の碑」など歴史的な観光資源も多く、一年を通して観光客が訪れ活況を呈しています。



交通アクセス



電車で
名鉄名古屋駅から「内海」行乗車。知多奥田駅下車徒歩1分(所要時間約50分)

車で
最寄りの名古屋高速入口から大高I.C.を経て知多半島道路へ。美浜I.C.下車一般道で10分(所要時間約40分)

スポーツと交流を通じてみんなが主役になれる場所

美浜町運動公園



スケジュール

項目		年度	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	
公園事業	右岸側	交流広場・陸上競技場	→								
		駐車場・防災施設								→	
	左岸側	仮駐車場等	→								
		遊具広場・健康広場等								→	
		多目的広場								→	
関連事業	町道森越・石坂平井線		→								
	町道奥田・河和線								→		

このパンフレットは運動公園をわかりやすく紹介したのもので、パースはイメージです。また内容やスケジュールは変更される場合があります。



美浜町運動公園

美浜町総合計画に基づく知多奥田駅周辺まちづくりの一環として、駅東側に運動公園を整備します。

400mトラックや人工芝のインフィールドを備えた陸上競技場をはじめ、グランドゴルフなども利用可能な多目的広場、子どもたちが楽しめる遊具広場、健康器具を設置した多目的広場及び駐車場などを整備します。

コンセプト

美浜町民、日本福祉大学学生等関係者、陸上競技大会・イベント参加者がスポーツと交流を通じてだれもが主役になれる場所。

美浜町運動公園は



人工芝のインフィールドを有する公認第3種(予定)の陸上競技場だけでなく、園内の縁路を活用したジョギングやウォーキングなどの運動もできます。



遊具広場や高齢者の方にも利用していただきたい健康遊具を設置した多目的広場があり、子どもから高齢者まで楽しむことができます。



実業団や大学の合宿、各種大会の誘致やイベントの開催により交流人口の増加が期待できます。



災害時には避難場所として、また復旧・復興活動の拠点として役割を担います。

公園概要

公園面積：約8.3ヘクタール

事業期間：2017年～

施設概要：陸上競技場(日本陸上競技連盟3種公認予定)・400mトラック(8レーン、全天候型舗装)
 ・インフィールド(人工芝)
 ・観覧スタンド(1,000席程度)
 ・交流広場、遊具広場、多目的広場
 ・防災備蓄倉庫1棟、駐車場270台



主な施設

◎陸上競技場(日本陸上競技連盟3種公認取得予定)

400mトラック(直走路9レーン、曲走路8レーン)は全天候型舗装で、インフィールド(投てき競技やサッカー等)は人工芝。観覧スタンド(1,000席程度)には控室、事務所、トイレ、ロッカー室等も併設。

◎交流広場

駅に近く、さまざまなイベント等を催すことも可能な約8,000㎡の広場。雨天時には広場の一部が雨水調整池に。

◎多目的広場①

アスファルト舗装された広場。

◎多目的広場②

健康器具を設置し、ストレッチ等の健康づくりに利用可能。

◎多目的広場③

サッカーボールを楽しんだり、大会開催時には臨時駐車場としても活用。

◎遊具広場

アスレチック等の特徴的な遊具を設置。

◎駐車場

常時240台程度の車を収容。身障者優先駐車場も30台程度収容予定。

◎調整池

大雨が降った時には外へ雨水を一齐に流さず、一時的に貯めておくことができる池を整備。

◎トイレ

誰もが使いやすい多目的トイレを設置。

◎備蓄倉庫、耐震性貯水槽

災害時に備えて防災備蓄倉庫、耐震性貯水槽を設置予定。

災害時の役割



避難場所

運動公園は地震、津波及び大規模な火事の際、指定緊急避難所として指定される予定です。多目的広場は避難場所としてご利用いただけます。



防災拠点

発災時には、競技場は緊急時ヘリコプター離発着可能場所として活用したり、観覧スタンドが避難場所になります。また駐車場に物資を集積することで、防災拠点としての役割を果たします。



仮設住宅予定地

避難等が長期にわたる場合、多目的広場は、仮設住宅予定地としても活用する計画です。